

第2編

4つの重点プロジェクトと 2つのアクション

**第1節 4つの重点プロジェクトと2つのアクション
の考え方**

第2節 4つの重点プロジェクトの取組

第3節 2つのアクションの取組



第1節 4つの重点プロジェクトと2つのアクションの考え方

調布市基本構想では、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向け、8つの基本目標を位置付けています。基本計画では、この基本目標とまちづくりの基本理念に沿った分野別計画を体系化し、31の施策を位置付けています。

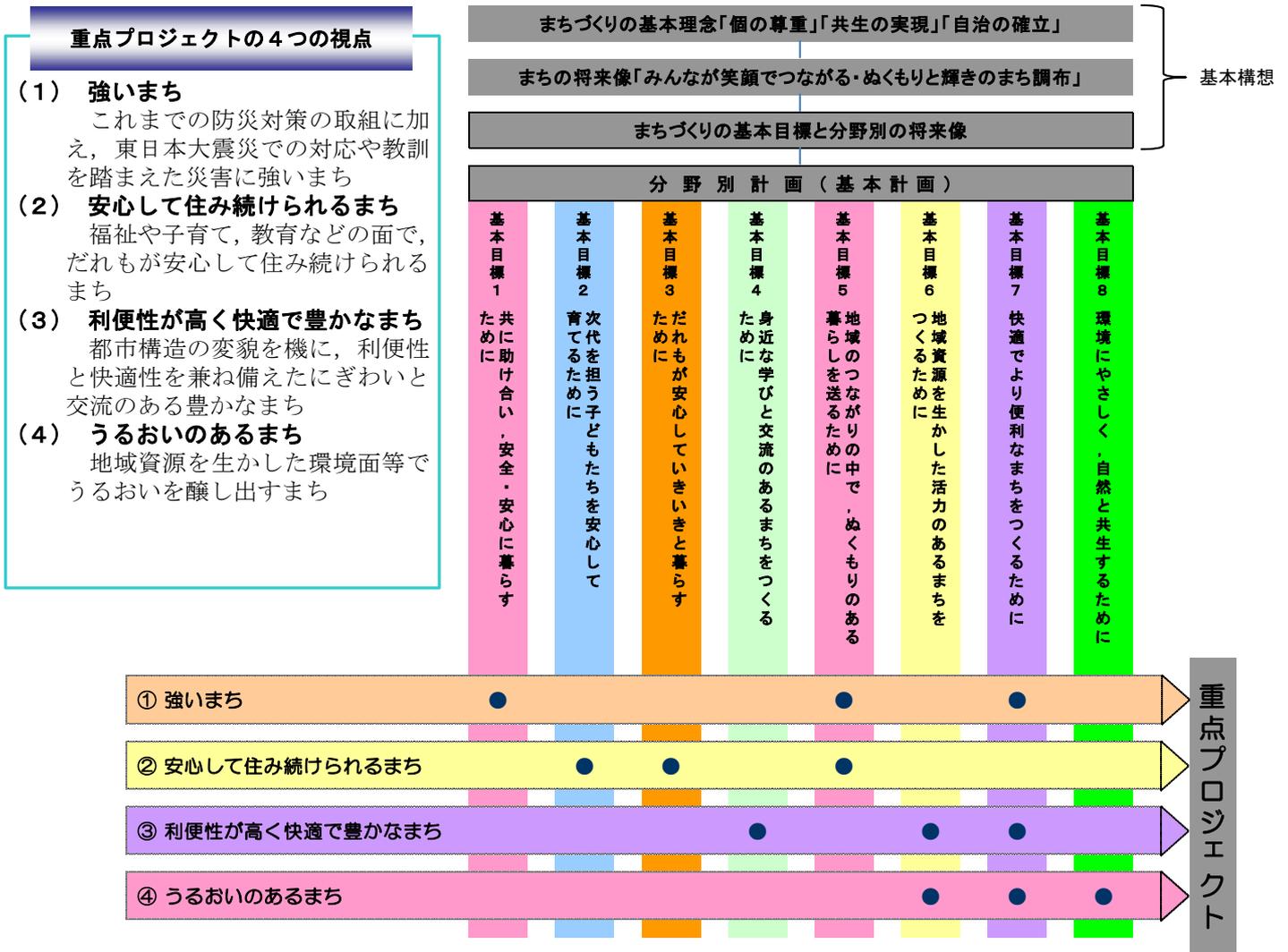
分野別計画の中で、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要事業について、優先性を踏まえた選択と集中の観点から重点プロジェクトとして位置付け、限られた経営資源を計画的かつ効果的・効率的に活用し、基本構想に掲げたまちの将来像の実現を目指していきます。

平成25年度からの調布市基本計画（平成25年度～平成30年度）では、平成24年度までの基本計画（平成19年度～平成24年度）の重点的取組によるまちづくりの成果を発展的に引き継ぐとともに、変革期にある調布市のまちづくりを中長期的に展望した中で、京王線の地下化に連動する21世紀の調布の街の骨格づくりをはじめ、大震災の経験を踏まえた災害に強いまちづくり、暮らしの面や環境面にも配慮したまちづくりに取り組むこととし、「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」の4つの視点により、分野別計画の8つの基本目標を横断的に関連付け、事業を抽出し、重点プロジェクトとして位置付けています。

平成27年度からの修正基本計画においても、この4つの視点を引き継ぎ、計画策定後の新たな課題や継続的な課題などを踏まえ、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要事業を重点プロジェクトに位置付けます。また、重点プロジェクトを基軸とする施策全体をより効果的に推進していくため、「横断的連携による施策の推進」と「調布のまちの魅力発信」の2つのアクションを位置付け、関連する施策を有機的に連動させた展開を図ります。

4つの重点プロジェクトと2つのアクション

図 重点プロジェクトと基本構想及び
分野別計画（基本計画）との関係



2つのアクションの視点

＜横断的連携による施策の推進＞
【アクションの狙い】
○重点プロジェクトをはじめとする横断的に取り組むべき主要事業や課題について、連携体制による情報共有や連携調整の充実を図りながら取組を進めます。

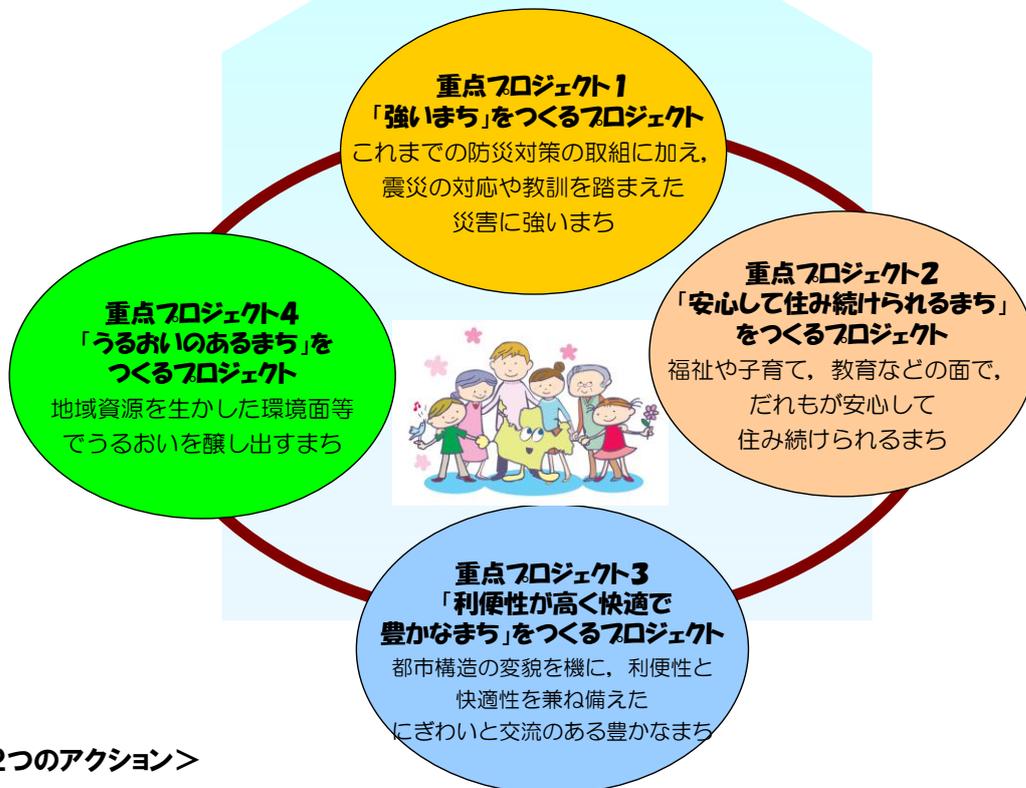
＜調布のまちの魅力発信＞
【アクションの狙い】
○調布のまちの魅力を高め、その魅力を多様な媒体を活用し市内外に積極的に発信するとともに、市民の調布のまちに対する愛着と誇りを高め、重点プロジェクトの推進、まちの発展につなげます。

第2節 4つの重点プロジェクトの取組

まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」を実現するため、次の4つの重点プロジェクトと市政経営における2つの基本的な考え方により総合的かつ計画的に推進していきます。また、2つのアクションにより、重点プロジェクトを基軸とする施策全体を効果的に推進していきます。

まちの将来像 **みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布**

<4つの重点プロジェクト>



<2つのアクション>

アクション1「横断的連携による施策の推進」

横断的に取り組むべき主要事業や課題について、連携体制を構築し、課題解決に向けた取組を推進

アクション2「調布のまちの魅力発信」

調布の街が大きく変貌する機会を捉え、ソフト・ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進し、調布のまちの魅力を市内外に発信

<市政経営の2つの基本的考え方>

参加と協働のまちづくり
～人と人がつながる市民が主役のまち～

持続可能な市政経営
～質の高い行政サービスの提供～

重点プロジェクト1 強いまちをつくるプロジェクト

これまでの防災対策の取組に加え、東日本大震災での対応や教訓を踏まえた災害に強いまち

目指すまちの姿

○自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりが進み、地域の防災力の向上が図られています。

- 地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織が市内各地域で組織されています。
- 避難所毎の運営マニュアルの作成が進み、マニュアルに基づく防災訓練が行われています。
- 学校施設の避難所としての機能が確保されるとともに、防災備蓄品の充実が図られています。



○特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化や橋りょう・下水道の耐震化が進み、市民の安全を守り、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりが進んでいます。

- 特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化が進み、震災時の復旧・復興の大動脈となる道路の確保が図られています。
- 市が管理する橋りょうの耐震化や、市庁舎や病院、避難所周辺の下水道施設の耐震化が完了し、災害に強い都市基盤の整備が進んでいます。



平成 30(2018)年度の到達点(まちづくり指標からの再掲)

まちづくり指標	目標値
防災市民組織の団体数	120団体(平成30年度)
橋りょうの耐震化率	100%(平成30年度)

重点プロジェクト事業(12事業)

～ 地域の防災力を高める ～

- 防災市民組織の育成
- 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- 防災備蓄品の確保・充実
- 災害情報システムの充実
- 消防水利の整備・維持管理
- 消防団の対応能力の向上
- 常備消防力の維持・向上
- 命の教育活動の推進(「調布市防災教育の日」)

～ 強い都市基盤をつくる ～

- 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- 橋りょうの耐震改修
- 下水道施設の地震対策の推進
- 住宅の耐震化の促進

【重点プロジェクトにおける新たな検討要素】

- 避難所防災機能の向上(小・中学校の整備)
- 市民による情報収集発信の取組

重点プロジェクト2 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

福祉や子育て、教育などの面で、だれもが安心して住み続けられるまち

目指すまちの姿

○だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実が図られています。

- ・高齢者が、できる限り住み慣れた地域で日常生活を継続できるよう、適切な医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進んでいます。
- ・障害者が能力や適性に応じて働き、地域で自立した生活をおくれるよう、障害者が地域で安心して生活できる環境の整備が進んでいます。



○安心して子どもを産み育てられる環境づくりが進むとともに、次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育っています。

- ・保育サービスの充実により、待機児童が解消されるとともに、病児・病後児保育や一時預かり等も含め、ニーズに応じた多様な保育サービスが提供されています。
- ・良好な学習環境が整備され、子どもたちが、基礎的な学力や社会性、体力を身に付けながら、それぞれの個性を伸ばし、主体的に考え、生きる力を育んでいます。



平成30(2018)年度の到達点(まちづくり指標からの再掲)

まちづくり指標	目標値
地域密着型サービス事業所数	第6期高齢者総合計画の検討と整合を図り設定(平成29年度)
子育てしやすいまちを感じている市民の割合	50.0%(平成30年度)
保育施設整備率	(仮称)子ども・子育て支援事業計画の目標値と整合を図り設定(平成29年度)

重点プロジェクト事業(11事業)

～高齢者や障害者の暮らしを支える～

- 地域包括支援センターの充実
- 介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- 地域密着型サービスの整備
- 特別養護老人ホーム等の整備
- 福祉人材育成拠点の整備
- 障害者の就労支援

～子どもたちの健やかな成長を支える～

- 待機児童対策の推進
- 学童クラブ施設の整備
- 子どもの貧困連鎖防止総合支援事業
- 特別支援教育の推進
- 小・中学校施設の整備

【重点プロジェクトにおける新たな検討要素】

- 子ども・子育て支援新制度
- 子どもの貧困対策、生活困窮者自立支援
- 福祉人材育成拠点の整備
- 困難を抱える若者支援
- 介護保険制度改革

重点プロジェクト3 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

都市構造の変貌を機に、利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある豊かなまち

目指すまちの姿

○京王線の地下化に連動した21世紀の調布のまちの骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地が形成されています。

- 円滑に移動できる都市計画道路などの道路網の整備が進められているとともに、交通結節点としての機能を有した交通空間に加え、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎを生み出す環境空間機能を兼ね備えた駅前広場の整備が進められています。

(平成26年度：布田駅前広場完成予定、平成27年度：国領駅前広場完成予定、平成32年度：調布駅前広場完成予定)

- 調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間の有効活用により、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の整備が進められます。



○まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化が図られています。

- 商業の振興と都市基盤の整備が一体となった魅力的な中心市街地が形成されています。
- 安全で快適な歩行者空間ネットワークの形成により、まちの回遊性の向上が図られているとともに、映画・映像関連企業との連携や、スポーツ、芸術・文化などの地域資源の活用により、まちの活性化が図られています。



(出典：東京都ホームページ)

平成30(2018)年度の到達点(まちづくり指標からの再掲)

まちづくり指標	目標値
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	70.0% (平成30年度)
住みやすいと感じている市民の割合	95.0% (平成30年度)

重点プロジェクト事業 (9事業)

～21世紀の調布のまちの骨格をつくる～

- 駅前広場の整備
- 都市計画道路の整備
- 鉄道敷地の整備
- 自転車等駐車場の整備・有料化
- 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進

～まちの活力を高める～

- 商店街活性化の推進
- 「映画のまち調布」の推進
- 民間ノウハウを活用した中小企業等の支援
- オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

【重点プロジェクトにおける新たな検討要素】

○2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

重点プロジェクト4 うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

地域資源を生かした環境面等でうるおいを醸し出すまち

目指すまちの姿

○調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、うるおいのあるまちが継承されています。

- 多様な主体が連携、協働して、水と緑の保全・創出や地球環境に配慮した取組が広がり、自然環境が保全された豊かな都市が形成されています。
- 調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の保全・活用により、良好な自然環境や里山の景観が維持されています。



○地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が進められています。

- 景観法を活用した景観まちづくりの推進により、地域の特性に応じた景観のルールづくりの取組が広がり、調布らしい魅力ある景観形成が図られています。
- 調布市の代表的な観光スポットである深大寺地区は、地域との連携を図りながら、街なみ景観の維持・向上が図られ、武蔵野の自然と歴史・文化が継承された景観形成が図られています。



平成 30(2018)年度の到達点(まちづくり指標からの再掲)

まちづくり指標	目標値
公共が保全する緑の面積 (h a)	149.5 h a (平成30年度)
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	85.0% (平成30年度)

重点プロジェクト事業 (6事業)

～ 豊かな水と緑を大切に守り生かす ～

- 公園・緑地, 崖線樹林地の保全
- 公園・緑地等の整備
- 深大寺・佐須地域の里山, 水辺環境の保全・活用

～ 良好な景観を創出する ～

- 景観計画・景観条例の運用
- 公共サイン計画の検討・運用
- 深大寺地区におけるまちづくりの推進

【重点プロジェクトにおける新たな検討要素】

○公共サインの整備

第3節 2つのアクションの取組

まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」を実現するため、重点プロジェクトを基軸とする施策全体をより効果的に推進していくために必要なアクションとして、以下の2つを位置付け、関連する施策を有機的に連動させた展開を図ります。

<2つのアクションと狙い>

<アクション1 横断的連携による施策の推進>

【アクションの狙い】

○重点プロジェクトをはじめとする横断的に取り組むべき主要事業や課題について、連携体制による情報共有や連携調整の充実を図りながら取組を進めます。

<アクション2 調布のまちの魅力発信>

【アクションの狙い】

○調布のまちの魅力を高め、その魅力を多様な媒体を活用し市内外に積極的に発信するとともに、市民の調布のまちに対する愛着と誇りを高め、重点プロジェクトの推進、まちの発展につなげます。



アクション1 横断的連携による施策の推進

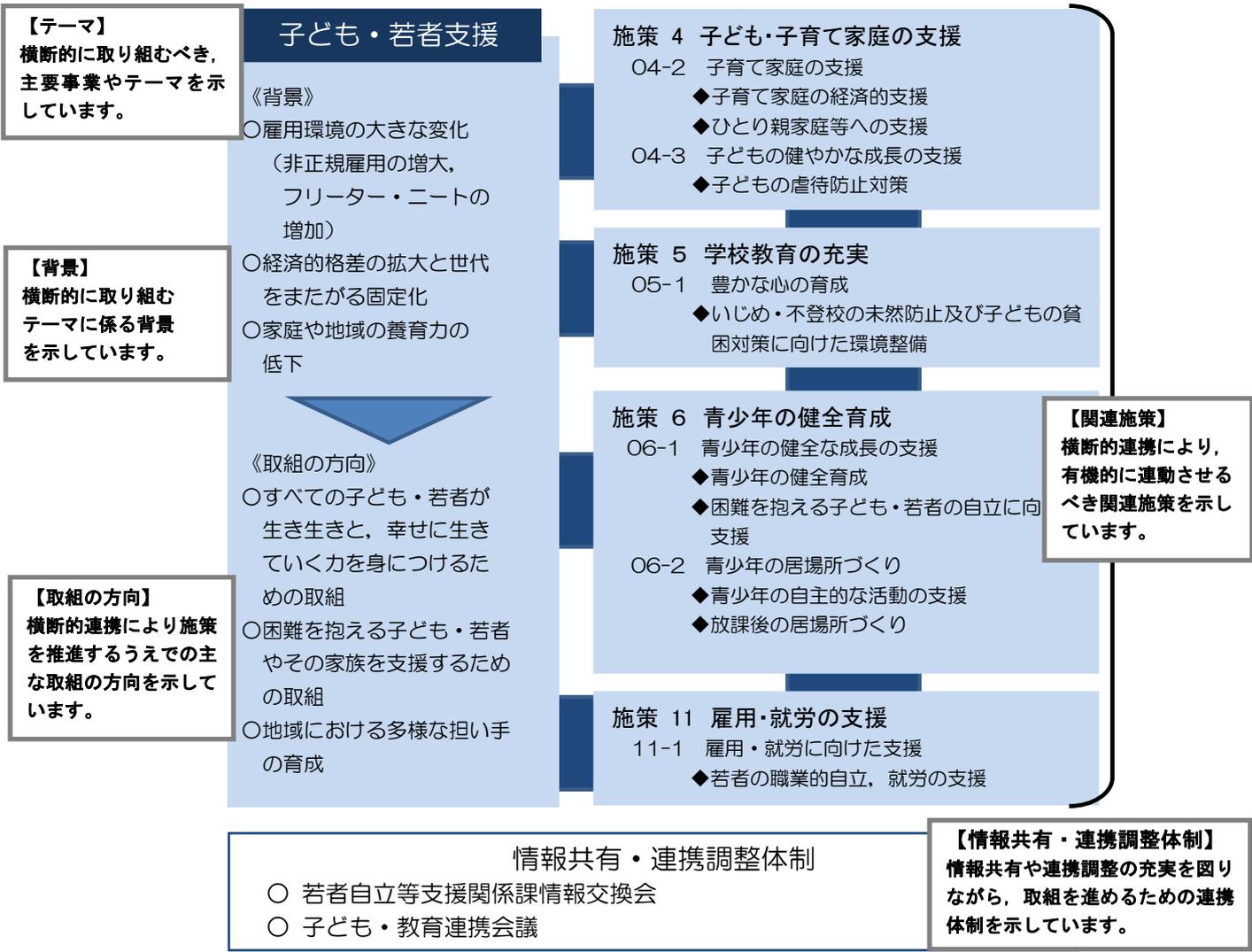
横断的連携による施策の推進のイメージ

- 施策横断的な行政課題の顕在化

○制度改正による新たな課題

○効率的・効果的な行政運営の必要性

○横断的に取り組むべき主要事業や課題については、連携体制による情報共有や連携調整の充実を図りながら取組を進める。



関連する施策を有機的に連動させ、総合的に施策を推進

重点プロジェクト1 強いまち関連

地域の防災体制づくり

《背景》

- 東京都地域防災計画の修正を踏まえた調布市地域防災計画の修正
- 調布市地域防災計画で示された課題への対応

《取組の方向》

- 自助・共助による自発的な防災活動の促進
- 避難所運営本部を中心とした避難所運営体制の整備
- 避難行動要支援者名簿の作成、名簿情報の提供など、避難行動要支援者対策の推進
- 一時滞在可能施設の確保など帰宅困難者対策の推進

施策1 災害に強いまちづくり

01-1 防災体制の充実

- ◆地域防災計画の推進・修正
- ◆地域の防災体制づくり
- ◆災害時のための支援
- ◆関係機関・事業所等との連携体制の強化
- ◆避難所における災害対応能力の向上・備蓄体制の強化
- ◆情報伝達能力の向上

施策5 学校教育の充実

05-5 安全・安心な学校づくりの推進

- ◆防災教育の推進

05-6 学校施設の整備

- ◆計画的な施設整備

施策15 地域コミュニティの醸成

15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援

- ◆地域コミュニティの形成と支援

情報共有・連携調整体制

- 調布市防災対策検討委員会



重点プロジェクト2 安心して住み続けられるまち関連

子ども・若者支援

《背景》

- 雇用環境の大きな変化
(非正規雇用の増大、
フリーター・ニートの増加)
- 経済的格差の拡大と世代をまたがる固定化
- 家庭や地域の養育力の低下

《取組の方向》

- すべての子ども・若者が生き生きと、幸せに生きていく力を身につけるための取組
- 困難を抱える子ども・若者やその家族を支援するための取組
- 地域における多様な担い手の育成

施策 4 子ども・子育て家庭の支援

- 04-2 子育て家庭の支援
 - ◆子育て家庭の経済的支援
 - ◆ひとり親家庭等への支援
- 04-3 子どもの健やかな成長の支援
 - ◆子どもの虐待防止対策

施策 5 学校教育の充実

- 05-1 豊かな心の育成
 - ◆いじめ・不登校の未然防止及び子どもの貧困対策に向けた環境整備

施策 6 青少年の健全育成

- 06-1 青少年の健全な成長の支援
 - ◆青少年の健全育成
 - ◆困難を抱える子ども・若者の自立に向けた支援
- 06-2 青少年の居場所づくり
 - ◆青少年の自主的な活動の支援
 - ◆放課後の居場所づくり

施策 11 雇用・就労の支援

- 11-1 雇用・就労に向けた支援
 - ◆若者の職業的自立、就労の支援

情報共有・連携調整体制

- 若者自立等支援関係課情報交換会
- 子ども・教育連携会議



重点プロジェクト3 利便性が高く快適で豊かなまち関連

中心市街地のまちづくり

《背景》

- 平成24年8月19日に京王線の地下化が実現し、18カ所の踏切が除却されるなど都市構造が大きく変貌
- 京王線の地下化に連動する21世紀の調布のまちの骨格づくりをまち全体の活力と市民生活の質の向上につなげる必要性

《取組の方向》

- ソフト・ハードが一体となった魅力あるまちづくりの推進
- にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある魅力的な駅前広場、鉄道敷地の整備
- 中心市街地活性化プランに基づき、商工会・事業者等と連携した活性化の推進

施策16 活力ある産業の推進

- 16-1 にぎわいを創出する商店街等の支援
- ◆中心市街地活性化の推進

施策22 地域特性を生かした都市空間の形成

- 22-1 魅力的な中心市街地の形成
 - ◆面的整備手法の活用
 - ◆魅力的な駅前広場の整備
 - ◆鉄道敷地の整備と活用
 - ◆歩行者の回遊性の向上
 - ◆都市景観の創造
 - ◆中心市街地活性化の推進
- 22-2 駅周辺におけるまちづくり
 - ◆公共サインの整備

施策27 水と緑による快適空間づくり

- 27-2 水と緑の創出
- ◆公園・緑地等の整備

施策17 魅力ある観光の振興

施策24 安全で快適なみちづくり

施策25 総合的な交通環境の整備

情報共有・連携調整体制

- 課題共有ミーティング
- 都市整備対策協議会



重点プロジェクト4 うるおいのあるまち関連

景観まちづくり

《背景》

- 地域固有の景観資源の保全・創出の必要性
- 景観法の施行による景観意識の高まり
- 都市基盤整備に連動した公共サインの整備の必要性

《取組の方向》

- 街並み・景観保全に向けた規制・誘導
- 調布の自然・地域の個性を生かした景観価値の向上
- 中心市街地の中核となる駅前広場や鉄道敷地など、ゆとりとうるおいのある空間の創出
- 回遊性向上に資する公共サインの整備

施策21 良好な市街地の形成

21-2 景観まちづくりの推進

- ◆調布の自然・地域の個性を生かした景観価値の向上
- ◆街並み・景観保全に向けた規制・誘導
- ◆地域における景観意識の醸成
- ◆公共サイン計画の検討・運用

施策22 地域特性を生かした都市空間の形成

22-1 魅力的な中心市街地の形成

- ◆都市景観の創造

施策27 水と緑による快適空間づくり

27-1 水と緑の保全

- ◆身近な水辺と崖線樹林地・里山の一体的な保全・活用

27-2 水と緑の創出

- ◆公園・緑地等の整備

27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

- ◆深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

施策20 地域ゆかりの文化の保存と継承

20-1 歴史・文化遺産の保存と継承・活用

- ◆地域ゆかりの歴史・文化遺産等の活用と継承

情報共有・連携調整体制

- 都市整備対策協議会
- 公共サイン連絡協議会
- 環境調整協議会（深大寺・佐須地域環境保全等推進部会）



【主な横断的連携テーマと庁内体制】

重点	テーマ	主な取組内容
強いまち	地域の防災体制づくり	市内にいるすべての人の生命・身体・財産を災害の脅威から守るため、即応性のある調布市地域防災計画の検討等、調布市の防災対策の推進を図る。
	公共施設マネジメント	維持保全と併せて、既存の公共施設等における現状や課題を踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する。
安心して住み続けられる	子ども若者支援	すべての子ども・若者が生き生きと、幸せに生きていく力を身につけるため、困難を抱える子ども・若者やその家族を支援する取組などを推進する。
	子どもの貧困対策	貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進する。
	生活困窮者の自立支援	生活保護に至る前の段階の自立を支援するため、生活困窮者を早期に把握し、本人の状態に応じた支援を実施する。
利便性が高く快適で豊かなまち	中心市街地のまちづくり	京王線の地下化を機に、商業・業務の振興と都市基盤の整備が一体となった魅力的な中心市街地の形成に向けて、ソフトとハードが一体となったまちづくりを推進する。
	「映画のまち調布」の推進	映画・映像関連企業が集積している調布市ならではのメリットを産業、観光・文化などの事業展開や、まちの賑わい創出、回遊性の向上につなげる。
	オリンピックに向けた取組	オリンピック会場に予定されている味の素スタジアム及びその周辺施設の立地市として、スポーツ分野をはじめとする様々な取組を、関係団体などと連携して取り組むことにより、オリンピックレガシーを生み出し、残す。
うるおいのあるまち	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用	調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の環境保全及び活用を図るため、雑木林の保全や田園風景の保全などを推進するとともに、良好な地域環境の維持・保全・活用に向けた取組を推進する。
	景観まちづくり	地域固有の都市環境と自然環境との調和を基調とした魅力ある景観価値を市民と共有し、景観緑三法を活用した景観まちづくりを推進する。

主な関連施策	庁内連携組織
施策 1 災害に強いまちづくり 施策 5 学校教育の充実 施策 15 地域コミュニティの醸成	・防災対策検討委員会
施策 1 災害に強いまちづくり 施策 23 良好な住環境づくり 施策 27 水と緑による快適空間づくり 施策 29 生活環境の保全	・課題共有ミーティング ・維持保全担当者連絡会
施策 4 子ども・子育て家庭の支援 施策 5 学校教育の充実 施策 6 青少年の健全育成 施策 11 雇用・就労の支援	・若者支援に関する連絡調整会議 ・子ども・教育連携会議
施策 4 子ども・子育て家庭の支援 施策 5 学校教育の充実 施策 10 セーフティネットによる生活の支援	・子ども・教育連携会議
施策 10 セーフティネットによる生活の支援	・課題共有ミーティング
施策 16 活力ある産業の推進 施策 17 魅力ある観光の振興 施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成	・課題共有ミーティング ・都市整備対策協議会
施策 16 活力ある産業の推進 施策 17 魅力ある観光の振興 施策 19 芸術・文化の振興	・「映画のまち調布」推進連絡会議
施策 14 市民スポーツの振興 施策 16 活力ある産業の推進 施策 17 魅力ある観光の振興 施策 19 芸術・文化の振興 施策 21 良好な市街地の形成 施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成 施策 24 安全で快適なみちづくり	・課題共有ミーティング
施策 27 水と緑による快適空間づくり 施策 18 都市農業の推進	・環境調整協議会
施策 21 良好な市街地の形成 施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成 施策 27 水と緑による快適空間づくり	・公共サイン連絡協議会 ・都市整備対策協議会

アクション2

1 魅力発信の機会

2015(平成27)年

市制施行60周年

大きく変貌する調布の街

◆京王線地下化に連動する21世紀の調布の街の骨格づくり

- ・駅前広場：布田駅（平成26年度完成予定）
国領駅（平成27年度完成予定）
調布駅（平成30年度概成，32年度完成予定）
- ・鉄道敷地：平成27年度から段階的に整備
（平成36年度まで）

◆調布駅南北市街地再開発事業

平成27年度までに竣工予定
（南口東，北1A，北1B）

◆布田駅南土地区画整理事業

平成26年度完了予定（換地処分）

◆駅周辺の都市計画道路

調布3・4・26号線，28号線，32号線，33号線など



◆東京外かく環状道路の整備（平成32年度開通目標）

◆同時期に進行する市内大型事業（予定）

- ・調布駅周辺の複合商業施設の民間開発
（平成29年度竣工予定）
- ・武蔵野の森総合スポーツ施設
（平成28年度竣工予定）
- ・電気通信大学100周年
キャンパス整備・運営事業
（平成30年稼働予定）



＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

2020(平成32)年

オリンピック・パラリンピック東京大会

2 魅力発信のねらい

魅力発信の目的

調布のまちの魅力を高め，その魅力に発信するとともに，市民の調布の発展につなげる。

21世紀の街の
各づくり

調布のまちの



施策の推進により『新生

多様な魅力を再発見し、

【取組の視点】

- 市内外に発信
- 市民や事業者との協働

【多様な発信媒体の活用】

- インターネットやSNSの活用
- 市民や事業者との連携による

目指す効果

市民のまちに対する愛着と誇り

交流人口（来訪者など）の増加

まちの発展

まちの活性化

多様な主体の参加・協働

調布のまちの魅力発信

を多様な媒体を活用し市内外に積極的にまちに対する愛着と誇りを高め、まちの

魅力の要素



新たな課題への対応

『調布』の魅力へ向上

磨き、発信する

【推進体制】

- 市内連携(プロジェクトチーム)
- 商工会や観光協会, NPO等との連携

(HP・フェイスブック・ツイッターなど)
情報発信 ○市民交流イベントなどの活用

の高まり

人の定住や企業の定着

へつなげる

まちのイメージアップ

によるまちづくりの推進

3 魅力発信の展開

魅力の気づき

魅力の再発見

- 市内検討やアンケート調査・モニタリングによる新たな魅力の発見
- ワークショップなど, 市民参加・協働により, 調布の魅力の気づき・再発見

魅力の磨きあげ

魅力の結びつけ

- 施策の展開により魅力を高める
- 魅力と魅力を結びつけて相乗効果のある新たな魅力を創出

魅力の発信

- 多様な発信媒体を活用し, 市内外に発信
- 調布に行ってみたいと思わせる情報発信

【様々な人へ向けて発信】

(例) ユニバーサルデザイン・多言語表記

【様々な手法で発信】

(例) ホームページ・SNS・動画配信
マスメディア・交流イベント

研修や研究を通じて各職員が発信手法を学習・習得・実践

魅力の実感

- 調布市に住む人が「住んで良かった」と思える調布市の魅力を実感
- 調布市を訪れた観光客等が「来てよかった」と思える調布市の魅力を実感

新たな魅力の
気づき・再発見へ

